



member
対談者紹介

熊谷育美さん

くまが いいくみ / 昭和60年5月 月生。シンガー・ソングライター。本市出身。平成22年7月に「リアス」として「気仙沼大使」に名称変更)に就任。10代半ばから楽曲制作をはじめ、今まで生み出した楽曲は300曲を超える。平成21年11月に「人待雲」でメジャーデビュー。22年5月に発表したシングル「月恋歌」が映画の主題歌に抜きさるなど、高い歌唱力で活躍中。

●パーソナリティー番組
DATE FM「自給自足日々」
(毎週火)20:00~20:25
●公式ホームページ
http://kumagai193.com/
●公式ブログ
http://ameblo.jp/kumagai193/



■市長 育美さんにとって、昨年は大きく飛躍された年だったと思います。振り返ってみてどんな年でしたか？
■育美さん デビュー前は想像できませんでした。いきなり暗闇のトンネルを抜け出したような年でした。それまでの4・5年間は、ずっと気仙沼で曲を作りためていましたから。それが急に自分の曲を聴いていただける機会が増えて。すごく濃密な年でした。
■市長 私にとっても非常に変化が激しく、中身の濃い1年でした。市長の職務に対し、やりがいと同時に責任の重さも感じた年でしたね。昨年は育美さんを「みなと気仙沼大使」に任命させていただきました。あらためてよろしくお願ひします。



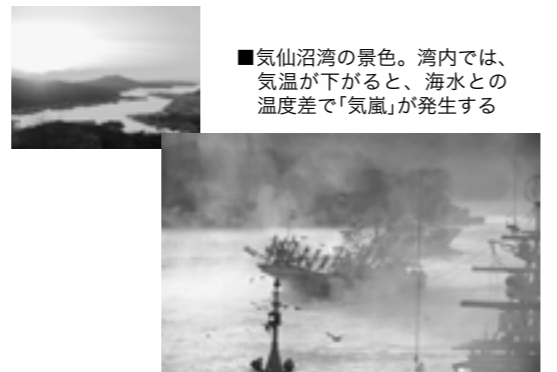
「曲づくり」「まちづくり」のアーティストが美術館で気仙沼を「うたう」
二重唱「ふるさと」
in リアス・アーク美術館
N.E.blood 21

■市長 育美さんは、これまで300曲以上も作曲しているそうですが、プロになろうという意識は小さいころからあったのですか？
■育美さん 想いはありましたが、気仙沼で暮らす私にはとんでもない夢だと考え、周りには黙っていました。「プロになりたい」なんて言ったら友達にびっくりすると思う(笑)。でも、自分の感情

■市長 ありがとうございます。長く続けていけるように頑張ります。私の公式ホームページの中に、私を含め5人で気仙沼の情報や日々発信している「癒されて気仙沼」という特設サイトがあります。世界のどこからでも気仙沼の情報が見られるように、どんどんPRしていけたらと思っています。
■市長 ありがとうございます。インターネットの力は大きいですが、年代を問わず、いろいろな形で情報を発信していきたいと思えます。市外の方とお会いする機会が多いと思いますが、その方たちの気仙沼に対する印象

■市長 育美さんは、これまで300曲以上も作曲しているそうですが、プロになろうという意識は小さいころからあったのですか？
■育美さん 想いはありましたが、気仙沼で暮らす私にはとんでもない夢だと考え、周りには黙っていました。「プロになりたい」なんて言ったら友達にびっくりすると思う(笑)。でも、自分の感情

■市長 ありがとうございます。長く続けていけるように頑張ります。私の公式ホームページの中に、私を含め5人で気仙沼の情報や日々発信している「癒されて気仙沼」という特設サイトがあります。世界のどこからでも気仙沼の情報が見られるように、どんどんPRしていけたらと思っています。
■市長 ありがとうございます。インターネットの力は大きいですが、年代を問わず、いろいろな形で情報を発信していきたいと思えます。市外の方とお会いする機会が多いと思いますが、その方たちの気仙沼に対する印象



■気仙沼湾の景色。湾内では、気温が下がると、海水との温度差で「気風」が発生する

■市長 育美さんは、これまで300曲以上も作曲しているそうですが、プロになろうという意識は小さいころからあったのですか？
■育美さん 想いはありましたが、気仙沼で暮らす私にはとんでもない夢だと考え、周りには黙っていました。「プロになりたい」なんて言ったら友達にびっくりすると思う(笑)。でも、自分の感情

■市長 ありがとうございます。長く続けていけるように頑張ります。私の公式ホームページの中に、私を含め5人で気仙沼の情報や日々発信している「癒されて気仙沼」という特設サイトがあります。世界のどこからでも気仙沼の情報が見られるように、どんどんPRしていけたらと思っています。
■市長 ありがとうございます。インターネットの力は大きいですが、年代を問わず、いろいろな形で情報を発信していきたいと思えます。市外の方とお会いする機会が多いと思いますが、その方たちの気仙沼に対する印象

平成23年が、いよいよ幕を開けました。今年の干支は「卯」。元氣よく飛び跳ねるウサギのように、市民の皆さんが大きく飛躍できる年になりますよう祈念いたします。
今回は、企画展「N.E. blood 21」が開催されているリアス・アーク美術館を会場に、ふるさと気仙沼をこよなく愛し、「曲」を創造する熊谷育美さんと、「まちづくり」を創造する気仙沼市長の二人に、それぞれの近況や、気仙沼の「今」と「未来」などについて語っていただきました。



■気仙沼市長(以下 市長) 本日は、お忙しい中お出でいただきありがとうございます。ここは市民に親しまれている施設の一つ、リアス・アーク美術館です。東北・北海道の若手作家の企画展を開催中ですが、今回は、今年の干支であるウサギの絵画などの前で対談させていただきました。よろしくお願ひします。
■熊谷育美さん(以下 育美さん) こちらこそ、よろしくお願ひします。

対談者
熊谷育美さん (シンガー・ソングライター) × 菅原茂 (気仙沼市長)
■会場: N.E.blood 21 vol.45 「田塚麻千子展」開催中の企画展示室内

duct one's hometown

■市長 感受性が高く想像力があるからだと思います。常に刺激を受けながら、持つて生まれたすばらしい能力をこれからも磨き続けてください。

■育美さん ありがとうございます。実は今、畑作業が趣味なんです。余っている土地を使って若者が利用できる畑があったら私も活用したいです。

■市長 なるほど。畑作業が終わったら宿泊したり自然を楽しんだりなど、そのエリア全体を工夫して、気仙沼を感じられるような仕掛けができればいいですね。でも、土いじりが好きとは意外でした。

■育美さん 収穫とか楽しんで。友達とも「やりたいね」って盛り上がっています（笑）。市長さんにとって気仙沼の一番好きなところはどこですか。

■市長 一つ上げるとは難しいですが…。景色で好きなのは、唐桑の鮭立からの眺めですね。宿舞根の海の色が天候や時間によって変化して、深く入り組んだ静かな湾にイカダも見える。音が無く、時間がゆっくり流れている気がするんです。実は、私の小さいころからの趣味が「船」なんです。なるべく船を見るために海岸を通りますし、漁船だけでなく貨



物船や大型の客船などを見たのも好きですね。

■育美さん 市長さんの意外な一面を知ってしまいました（笑）。

■市長 私は、行ったことのない所にはほとんど行って見たいという気持ちで強く、東京や海外での生活を経験してきましたが、今は気仙沼のことで頭がいっぱいでいる人であるべき職でもありますし。育美さんは、若い方の中ではふるさと意識が特に強い方だと感じますが、気仙沼を離れて外から見た時に思う気仙沼の魅力は何ですか？

■育美さん 何より人が温かいことです。私も東京で暮らした経験がありますが、このまちの風土、家族や親戚のありがたさなど、今まで気付かなかった地元の温かさをそ

■市長 そうですね。また、人の記憶には、食べ物の味はもろろん、「誰と食べた」「どんな話をした」という付加価値が加わって強く残ります。例えば夕日を見ながら食事すれば、景色と味が併せて記憶に残って、自分の好きな場所になっていく。そんな仕掛けができればよいですね。

互いの夢と
気仙沼の未来

■市長 私には「気仙沼をこんなまちにしたい」という二つの夢というか目標があります。それは、市民の皆さんにとつて分かりやすく、少し遠いけど頑張れば手が届く目標です。一つは「世界に羽ばたく産業のまち」。今は世界を相手にする時代で、日本の中だけでモノを売ったり買ったりするのは限界です。常に世界を意識しながらまちの産業を発展させたい。もう一



■唐桑町鮭立から宿・舞根付近の湾を望む景色。リアス式海岸特有の入り組んだ地形で、湾内は穏やか

つは「日本で一番住みたいまち」。福祉や医療の面で、充実したまちにしたいという目標です。育美さんにとつての夢は何ですか？

■育美さん 私の夢は、気仙沼の海をバックに紅白歌合戦のステージで歌うことです。最近、紅白の出場を意識していないアーティストもいると聞きますが、私には夢であり目標です。とても大きな夢ですが、そこを目指して頑張っていきます。

■市長 すばらしい夢ですね。実現すれば、まちにとつてもかなりのPRになります。私は「願われない事は叶わない」と考えていて、夢を常に意識することが大事だと思います。実力もおありですから、実現可能な夢だと思いますよ。

の時あらためて感じました。同じ学校の友達で地元に残っている人は少ないですが、その友達は気仙沼が好きだから住んでいるのだと思います。若い人でも気仙沼が好きなのはたくさんいますよ。本当は私たちの世代が、まちをもっと盛り上げていかなければいけないのでしようけど。

■市長 「盛り上げていかなければ」という意見はうれいすね。私は16年ぶりに地元に戻って来た時、多くの元とお付き合ひすべきだと思、青年会議所に入会したり、「目黒のさんままつり」に初回からかわつたりしました。今の若い方は、刺激を求めながら、機会を作れていないような気がします。以前と違い、人の数も少なく大変でしょうが、20代や30代の世代が、勇気を持ってもっと積極的に活動し、まちづくりのおもしろさを体験してほしい

■市長 「食」のほかに観光客が満足できるものも一つあるといいなと思います。みんなが集えるエンターテイメント的なものなどがあってもよいのかなと思います。



■市長 例えば「毎週ここでライブをやる」といった場所など、誰でも参加できる空間もいいですね。たとえば倉庫などを利用したもので、中央のステージでは歌やダンスパフォーマンスなどが披露できるとか。そこに人が集い、商売も成り立つような場所がいいなと思いますね。

■育美さん エースポートなどは、その点で良い場所だと思いますね。

■市長 私の仕事は、ここで暮らす皆さんが、夢や希望を少しでも大きく抱けるようにすることだと思っています。育美さんは、10年、20年後の気仙沼がどんなまちであつてほしいですか？

■育美さん 去年、スローフードフェスティバルに行つて来ました。これまで寂しかった通りがすごく活気があつて、とても楽しかったので、2日間とも行つてしまいました（笑）。そういうイベントに、私と同じ世代の方が積極的に参加するような、そんな元気なまちになればいいなと思いますね。

■市長 「にぎわい」と「元氣」ですね。

■育美さん はい。「港まち」にはそんなイメージが似合います。沖繩に行った時、時間の流れが気仙沼に近いなと感じました。気仙沼はそんな「スローライフ」なまちであつてほしい。

■市長 あのイベントはとても好評で、皆さんはいろいろなことを感じたと思います。「昔はこうだったよね」と思つた人もいれば「違うまちに来たみたい」という人もいました。「毎日やってほしい」とい

ですね。当然、私たちがその環境を作つていかなければならないし、定住やUターンできる環境を整え、若い世代の方が持つ力を存分に発揮できる風土を作る必要があります。育美さんは、市外で活躍されているのに地元にも頻繁に帰つて来てくれる。ぜひ若い世代の起爆剤になってほしいですね。

■育美さん はい。頑張りたいと思います。

■市長 気仙沼に「これがあればいいな」と思うものはありますか？

■育美さん 「食」のほかに観光客が満足できるものも一つあるといいなと思います。みんなが集えるエンターテイメント的なものなどがあってもよいのかなと思います。

■市長 例えば「毎週ここでライブをやる」といった場所など、誰でも参加できる空間もいいですね。たとえば倉庫などを利用したもので、中央のステージでは歌やダンスパフォーマンスなどが披露できるとか。そこに人が集い、商売も成り立つような場所がいいなと思いますね。

■育美さん エースポートなどは、その点で良い場所だと思いますね。

ウサギのように
飛躍の年に

■市長 育美さんには、夢をどんどん膨らませていただきたいですし、さらに飛躍してほしいのですが、最後に、今年の抱負を聞かせてください。

■育美さん はい。デビュー2年目になるので、さらに大きく、でも一歩一歩確実に前進したいと思っています。応援してくださいファンの方は「育美＝気仙沼」と思っている方が多いので、自分なりの

方法で大好きな気仙沼を広めていきたいです。そして、ファンの方も「気仙沼に行きたい」と思っていたらいいなと思います。

■市長 ありがとうございます。私も市長2年目を迎える年ですが、一つ一つの課題にまっすぐ向き合い、しっかりと対応していきたいと思っています。また、若い人たちが気仙沼で仕事ができるよう、確実に産業面の伸展を図り、目に見える結果が出るよう頑張りたい。育美さんの夢を含め、市民の皆さん一人一人がより大きな夢や希望を持てるよう、精一杯努力していきます。育美さんも、ウサギのように飛躍できる年になることを期待しています。今日は本当にありがとうございます。

■育美さん ありがとうございます。私も微力ながら、大好きな気仙沼のために頑張ります。



■昨年11月に開催された「気仙沼スローフードタウン&ライブフェスティバル2010秋」。約2万人の人出でにぎわいました



作品「blue eyes」と一緒に、対談者2人で記念撮影。振り袖姿でご参加いただいた熊谷育美さんや関係者の方など、本対談開催に当たり多くのご協力をお願いいたします。「広報けせんぬま」2月1日号からは、菅原気仙沼市長のコラム連載がスタートします。

リアス・アーク美術館

平成6年10月に開館し、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合が管理運営を行っている、鉄骨・鉄筋コンクリート造り地上3階建ての美術館。「リアス」はリアス式海岸の当地域を意味し、「アーク」は歴史・文化・芸術の保存や継承を行う方舟を意味しています。

【N.E.blood21】
東北・北海道在住で、精力的に制作・発表を行う若手作家を紹介するシリーズ企画展。対談開催時は、釧路市在住の作家「田塚麻千子」さんの企画展開催中で、写真中の作品も田塚さんの作品です。

RIAS ARK MUSEUM OF ART